

社会的ハイリスク妊婦の把握と切れ目のない支援のための保健・医療連携システム
構築に関する研究
分担研究課題

周産期センター通院児童の養育者のメンタルヘルス問題に関する研究

研究分担者 中村 友彦 地方独立行政法人 長野県立病院機構 長野県立こども病院 病院長
研究協力者 三代澤 幸秀 国立大学法人 信州大学医学部 小児科 助教

【研究要旨】

前研究班の結果から、出産後の新生児の状況によっては養育者のメンタルヘルス不調に関わったり、医療ネグレクトが発生する可能性が考えられ、このような周産期センター通院児童の養育者への切れ目のない支援体制が必要である。本研究では、全国の周産期母子医療センターにおける、その実態と支援体制を明らかにし、有効な支援体制構築の方策を検討する。全国総合周産期母子医療センター、地域周産期センター合計 409 施設に、「養育力の乏しいハイリスクな家族の情報を、出生前から多職種で共有し、退院後に家族を地域で支えていく医療体制」の現状についてアンケート調査をおこない、多くの施設が、メンタルヘルスに問題のある妊婦が増加していると感じており、医療ネグレクトの症例も経験しているが、その対応ができる体制は不十分で、メンタルヘルスに問題のある妊婦に対する対応に困難さを感じている。また、多職種連携の体制、手段が構築されていない実態が明らかになった。

A. 研究目的

前研究班の結果から、出産後の新生児の状況によっては養育者のメンタルヘルス不調に関わったり、医療ネグレクトが発生する可能性が考えられ、このような周産期センター通院児童の養育者への切れ目のない支援体制が必要である。本研究では、全国の周産期母子医療センターにおける、その実態と支援体制を明らかにし、有効な支援体制構築の方策を検討する。

B. 研究方法

全国総合周産期母子医療センター、地域周産期センター合計 409 施設に、「養育力の乏しいハイリスクな家族の情報を、出生前から多職種で共有し、退院後に家族を地域で支えていく医療体制」の現状についてアンケート調査をおこない、その現状を把握し支援策モデルを作成、実際に利用し、有用性について検証する。

C. 研究結果

185 施設(45%)から回答があり、精神科医の存在(61%)、心理士(63%)、MSW(42%)はそれぞれ少ないが、メンタルヘルスチェックの実施(81%)は多くの施設でおこなわれていた。多職種カンファランスの実施(65%)、バースレビュー体制(34%)もまだ充分におこなわれていない。メンタルヘルスに問題のある妊婦の増加(100%)、メンタルヘルスに問題のある妊婦への対応の困難(99%)、医療ネグレクトの経験(76%)は非常に高い数字であった。

D. 考察

多くの施設が、メンタルヘルスに問題のある妊婦が増加していると感じており、医療ネグレクトの症例も経験しているが、その対応ができる体制は不十分で、メンタルヘルスに問題のある妊婦に対する対応に困難さを感じている。また、多職種連携の体制、手段が構築されていない実態が明らかになった。

周産期のメンタルヘルス問題は深刻化している。対策は病院ごとに異なり一貫していない。地域とのつながりも不十分と思われる。虐待対策は周産期から取り組む必要があり、病院だけで解決する問題ではなく、福祉、行政、地域との共同が重要と考えられた。

E. 結論

産前・産後ともに、地域での既存の多職種によるスムーズな連携構築が十分に行われていないことが課題と考えられた。この連携を円滑にするために母子を地域でサポートするためのロードマップアプリを構築したい。

F. 健康危険情報

研究内容に介入調査は含まれておらず、関係しない。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

1. 特許取得:なし
2. 実用新案登録:なし
3. その他

周産期メンタルヘルスに関するアンケート調査

貴施設名 _____

回答者 _____

アンケートの目的：小児の虐待件数の増加が社会問題となっています。養育力の乏しいハイリスクな家族の情報を、出生前から多職種で共有し、退院後に家族を地域で支えていく医療体制を構築することが急務となっております。

そのためにまず現状の問題点を把握することを目的としています。総合周産期医療センターで、主に新生児の診療に携わる責任者の先生に率直なご意見を賜りたいと考えています。

施設・回答者に関すること

- ・回答いただく方の職種・経験年数は
産科医・小児科医
医師（ ）年目

病院の体制に関すること

- ・院内に周産期メンタルヘルスの問題について相談できる精神科医がいますか
いる いない
- ・主に周産期を担当する MSW はいますか
いる いない
- ・周産期に関わる心理士はいますか
いる いない
- ・地域連携室がありますか
ある ない

妊娠期のかかわり

- ・妊産婦に対してメンタルヘルスのチェックを行ってはいませんか
行っている（ 全員 特定の妊産婦のみ）
EPDS を使用 2 項目質問票を使用 その他（ ）
どの時期に（ 出産前 出産後）
複数回行うことがありますか（ はい いいえ）

主に誰が行っていますか

助産師 看護師 MSW 心理士 医師 その他()

結果を地域と共有していますか

している していない

行っていない

・メンタルヘルスに問題のある妊産婦に関して、院内多職種カンファレンスを行っていますか

行っている

参加する職種は以下のどんな職種ですか？全てチェックしてください。

産科医 小児科医 精神科医 助産師 看護師 MSW

心理士 その他()

・地域でのつながりが必要と考えられる妊産婦に関して、院外の職種を交えたカンファレンスを行っていますか

行っている

参加する職種は以下のどんな職種ですか？全てチェックしてください。

保健師 こども福祉担当の職員 母の福祉担当の職員 地域の助産師

児童相談所の職員 地域の精神科医 乳児院の職員 その他()

・精神疾患を合併している妊婦について、地域の精神科の医師と診療情報を共有できていますか

できている あまりできていない 全くできていない

・バースレビューを行う体制がありますか

ある ない

・メンタルヘルスに問題のある妊産婦のかかわりに困難を感じたことがありますか

よくある ときどきある あまりない

・メンタルヘルスに問題のある妊産婦が増加していると思いますか

そう思う 思わない どちらとも言えない

・妊産婦の自殺を経験したことがありますか

ある ない

出生後のかかわり

- ・ 児に問題がなかったケースでも分娩経過を意識していますか
 している していない

- ・ 要保護児童対策協議会（要対協）に参加していますか
 している していない

- ・ 医療ネグレクトの経験がありますか
 ある ない

- ・ 困ったときにすぐに相談できる地域の母子保健担当者がいますか
 いる いない

- ・ 地域の母子保健担当者が退院前に関わってくれるシステムがありますか
 ある ない

- ・ ハイリスクな家族に関して、退院後に症例検討会を行うことがありますか
 しばしばある ときどきある ない

- ・ 児童虐待等の問題を児童相談所へ相談したことがありますか
 ある ない

- ・ こどもを病院から乳児院に入所させたことがありますか
 ある ない

- ・ 産後2週間健診を行っていますか
 行っている
 行っていない
 産後2週間健診は必要だと思いますか？
 そう思う 思わない どちらとも言えない

- ・ 病院独自の取り組みがあったら教えてください（自由記載）

アンケートは以上です。
ご協力いただきありがとうございました。